

令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月5日(土)③

担当部局・担当課名: 農林水産部農村振興課

事業名	6次産業化とやまの魅力発信事業	評価結果	抜本的改善
-----	-----------------	------	-------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・4年で目標達成していない事業者など、売上の追跡調査が必要。
- ・個人に対して税金投入することに公共性、公益性があるのか。一定程度6次産業が浸透したら、補助制度ではなく、金融支援等の通常の支援制度に変更することを検討してはどうか。
- ・新しいことにチャレンジする方にはこういった補助金というのは必要な制度。

【県民評価者の意見】

特になし

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数

21

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (県補助の廃止、国・ 市実施分に移行)	役割分担 見直し (なし、あるとすれば 他県連携)	抜本的改善 (補助事業者へのフォ ロアアップ・未達成時 の対策の検討)	一部改善 (これまでどおり補助 金は継続、支出方法・ 成果の捉え方の見直 し)	現行どおり ・拡充
	4	1	9	5	2
県民 評価者 の 主な コメ ント	評価結果と 同じ評価	【抜本的改善】 ・事業の規模と公益性のバランスがとれていないような印象を受ける。市町村でも実施しているのであれば市町村で担えばよく、ゴールの設定も必要。 ・事業者直接向税金を投入するのに、目標未達成事業者への対応ができていないのではないか。 ・5年後、10年後のフォローアップは必要だが、同じペースで支援すると対象事業者数が増加する一方であるため、フォローアップの方法を見直す必要あり。 ・いつまでこのペースで事業を続けるのか、もっと的を絞って実施する方が良いのではないか。採択率が高すぎる。			
	上記以外	【行政の関与不要】 ・事業成果がわからない。個人の業者だけ得をしている感じがする。活用された商品を見たことない。 ・国や市にも類似の事業がある。 【役割分担見直し】 ・あまり効果を問わないこと。明確な成果より、育成が目的なら支援すればよい。 【一部改善】 ・取組は進めていくべきだが、成果があがっていないため、支援方法に改善が必要ではないか。(中小企業診断士との連携など、より総合的な支援) ・補助金に関してもっとPRし、質の高い事業計画を持った事業者への支援を進めてほしい。 ・決算書などによる検証は大切。5年目以降のフォローアップという考え方も大切だが、やってみて成果がない事業はやめるといった方向性も含めて支援しても良いと思う。 【現行どおり・拡充】 ・機会の平等や均等はあるべきだと思う。銀行から融資を受ける事業者と補助金を受ける事業者に差があるのが気になる。補助を受けたい事業者がいるのではないか。			

【参考】委員による評価

委員総数

4

評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	4	0	0

事業名	6次産業化とやまの魅力発信事業	評価結果	抜本的改善
------------	-----------------	-------------	-------

【県の対応】

今後の 対応方針	抜本的改善	事業内容拡充			
	○採択時の審査を厳格化し、計画策定からフォローアップまでの伴走支援を強化 ○また、これまで女性の経営参画の促進を目的に支援してきた「がんばる女性起業発展支援事業」(新商品開発・販路拡大や、起業から企業への支援)を6次産業化支援事業に整理統合				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	16,800(千円)	R5当初予算	18,450(千円) ※	増減額 ▲1,650(千円)
	増減理由	・審査時の外部アドバイザーの増員と伴走支援のための検討会の開催の増 ・がんばる女性起業発展支援事業を整理統合(補助経費は2事業あわせて▲2,250千円の減) ・既存事業の農山漁村発イノベーションサポート事業(3,200千円)における専門家のフォローアップと連携するため補助要件に追加 ※R5当初予算額は「がんばる女性起業発展支援事業」「農山漁村発イノベーションサポート事業」を含む			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	要求額	16,800(千円)	前年度予算額	18,450(千円)※	
		事業の目的	農林漁業者の所得増大を図るため、生産(1次)に加え、付加価値を高める加工(2次)や、新たな販売・サービスの提供(3次)を行う、6次産業化の取組みを支援するもの。			
		事業内容	農林漁業者等による新商品・サービスの開発等の支援や、計画策定段階から事業実施後のフォローアップまでの伴走支援の実施 ①補助金 (1)一般、農福連携、農観連携型:農林漁業者等による商品・サービスの開発等の取組みに対する支援 (2)女性モデル型(がんばる女性起業発展支援事業):新商品開発・販路拡大及び起業から企業を目指す農村女性起業活動を行う法人等の6次産業化を支援 ②検討会開催等 事業採択に係る検討会の開催、事業計画策定に対する支援 等 ③地域プランナー派遣によるフォローアップ 経営分析・改善、新商品開発、販路開拓、衛生管理等に関する専門的な助言・支援			
		積算内訳	①13,000千円、②600千円、③3,200千円			
	予算編成過程における議論	レビューにおける意見を踏まえ、採択時の審査厳格化、フォローアップ体制の強化と補助額の縮減など、適切な見直しが行われている。				
	最終的 な 予算 案	予算額	16,800(千円)	/		
要求時点からの変更点		変更なし				